

旭川市近文清掃工場の煙突から発生した錆状の飛散物について

◎ 7 / 2 7 (水)

- ・「前日 26 日の 16 時半頃、空から錆が降ってきた」との通報
- ・清掃工場職員にて、現地調査したところ付近に飛散物を発見。
- ・煙突上部を確認したところ、同様な錆のような物を発見。
- ・清掃工場職員により周辺地域に状況説明及び付近の清掃を実施
- ・点検明けの 1 号焼却炉が、原因である可能性が高いため、停止し調査する必要がある
- ・清掃工場のごみを貯めておくごみピットにも余裕が無く、燃やせるごみの一部を旭川市廃棄物処分場に搬入することを決定。
- ・ 1 号焼却炉停止 (18:00)

◎ 7 / 3 0 (土)～ 8 / 8 (月)

- ・煙道及び煙突内部の調査
- ・煙突点検清掃、煙道・サイレンサ点検清掃
- ・運転再開に向けた点検準備など

◎ 8 / 1 (月)～ 4 (木)

- ・処分場へ、燃やせるごみの一部を仮置き：搬入総量 707.16t
日別搬入量 (1 日 270.4t 2 日 231.88t 3 日 11.68t 4 日 193.2t)

◎ 8 / 5 (金)

- ・燃やせるごみを清掃工場を受け入れ再開

◎ 8 / 8 (月)

- ・煙突フラッシング作業 (4 回実施)
- ・ 1 号焼却炉立ち上げ開始 (18:30)

◎ 8 / 1 0 (水)～ 3 1 (水)

- ・処分場へ仮置きしたごみを清掃工場へ再搬入し焼却処理
(土日を除く 8/10～31 迄の計画)
- ・処分場へ仮置きしたごみを清掃工場へ再搬入中

近文清掃工場1号焼却炉の停止について

1. 飛散の確認

○1号炉ボイラー点検のため休止, 7/25 に運転開始(2号炉は運転継続)

排ガス ボイラー → バグ → 煙突 (各系独立)

○住民からの通報(7/27 9:00)

前日 16 時半頃, 空から錆が降ってきた。他 1 件から通報あり

○現地調査(10:30~12:00) 【図1のとおり】

錆のような物を確認

清掃工場職員と運転管理受託者で煙突上部の点検床にも同様な錆のような物を確認。1号炉から飛散したと思われ, 炉を停止し調査する必要があることを受託者と確認。錆の状況 【図2のとおり】

2. 対応の検討 (7/27, 1日目午後)

○関係者連絡(13:00~14:00)

清掃工場職員が周辺地域住民に錆らしきものが飛散しているとの状況説明

近文地区 6 市民委員会会長に一報

環境部長へ一報

運転管理受託者と共に周辺地域の清掃を実施(7/27, 28)

(7/30 は工場職員で屋根清掃 4 軒実施)

○部内協議(15:00)

飛散物が降り続いている模様(通報者継続監視中)

工場のどこからの錆なのか調査が必要

有害性確認含め焼却炉を停止し内部の調査が必要(受託者も同意見)

ピットに余裕がなく, ごみを処分場に仮置きせざるを得ない

札幌市の事例は認識(飛散の事実のみ)

○炉停止

運転管理受託者と打合せし, 停止時間を 18:00 に決定

○埋立地関係者連絡(7/28, 2日目午前)

処分場監視委員会長

江丹別地区・嵐山地区市民委員会会長へ, 処分場に仮置きするとの説明(11:00)

近文地区 6 市民委員会会長に報告(焼却炉停止, 処分場搬入)(15:00)

旭西町内会会長, 近文旭朋町内会会長に報告(15:00)

○議会・マスコミ

議会への報告(13:00)

マスコミ各社に報道依頼(14:40) 【図3のとおり】

3. 他都市事例確認

- 札幌(発寒清掃工場, 平成 28 年)
- 大阪広域環境施設組合(西淀工場)

4. 停止後の計画

○埋立地搬入量

合計 707.16トン(8/1~8/4 の 4 日間)

○煙突清掃

7/30(土)~8/8(月)

ゴンドラで作業員がスクレーパー等で錆をはがした。

バグ~煙突までの煙道も清掃

フラッシング(大阪の例を踏襲)の資材確保, 手順確認

煙突頂部に網をかけて, 押し込み送風機で飛ばす。4回実施。【図4のとおり】

○炉の運転開始

8/8(月) 18:30 より立ち上げ

○再搬入(8/10~8/31, 土日除く, 15~20 時)

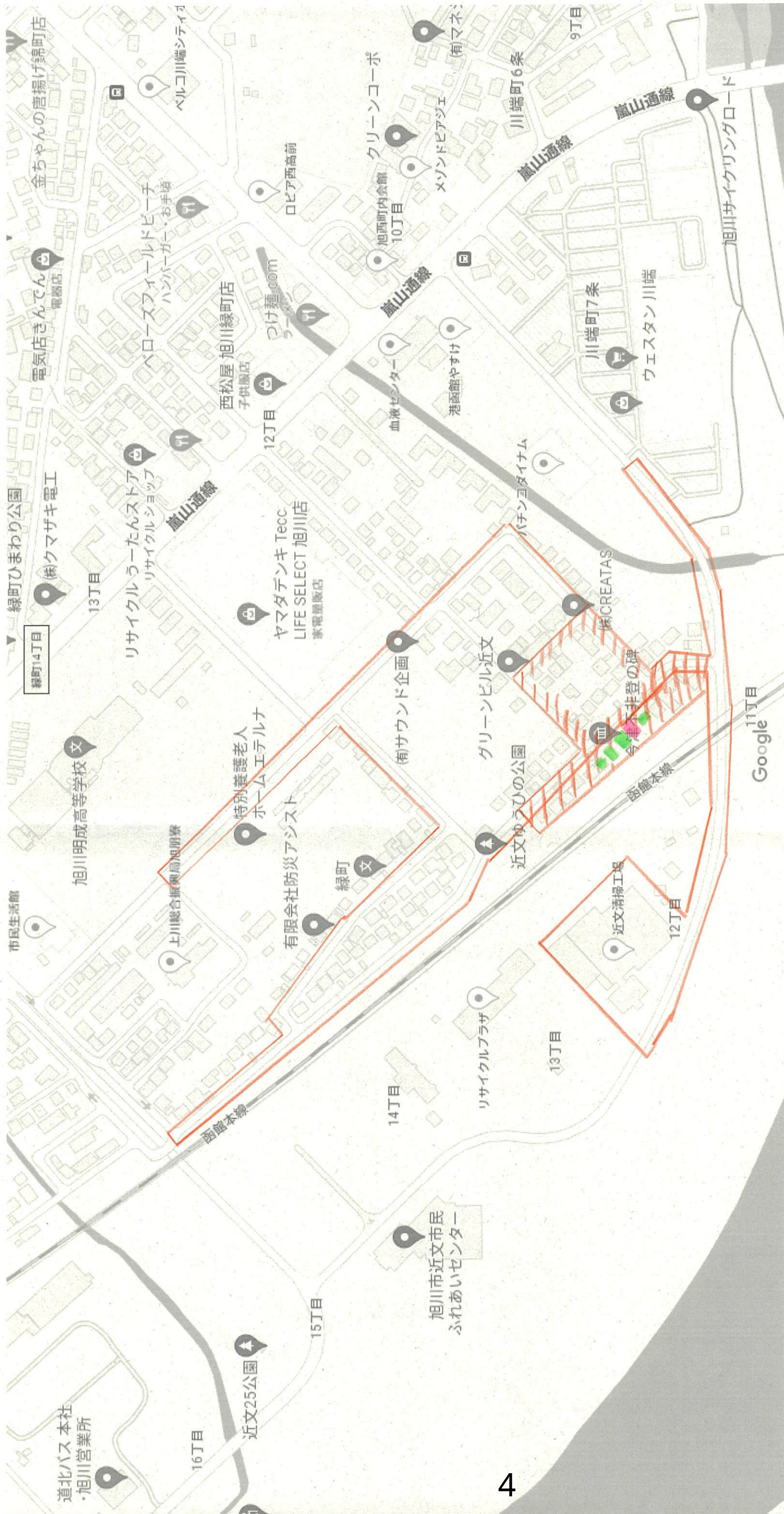
ごみ 700t÷4=延べ 175 台

バックホウと滑り台を使って積み込み(荷下ろしまで 80 分)

パッカー車(8m³車)16 台で, 必要日数 11 日(順調ならば 24 日に終了)

○今後の清掃計画

来月, 定期整備のため 2 炉とも休止するので, 2 号炉を清掃する。



地図データ ©2022 50 m

- 調査範囲
- 飛散確認・清掃範囲
- 屋根清掃実施箇所
- 住人による屋根清掃実施箇所

図 1

近文清掃工場, 周辺住宅地の錆の画像



場所	周辺住宅地
年月日	令和4年7月27日
寸法	3cm程度



場所	近文清掃工場煙突頂部床
年月日	令和4年7月27日
寸法	大が5cm程度



場所	近文清掃工場煙突内の底部
年月日	令和4年7月29日
寸法	1～2cm程度



場所	近文清掃工場煙突内の壁
年月日	令和4年8月1日
寸法	



場所	近文清掃工場煙突内清掃後の集めた錆片
年月日	令和4年8月1日
寸法	1～2cm程度

報道依頼・報道内容・HP周知内容

各報道機関 様

旭川市報道依頼



令和4年7月28日

年月日	令和4年7月28日
内容	報道依頼
項目	近文清掃工場周辺地域の錆状の飛散物について

発信課	環境部廃棄物処理課
担当者	廃棄物処理課長 尾藤正史
連絡先	電話 0166-26-1111 (内線 5235)
	FAX 0166-29-3977
	E-mail
	kankyo_seihai@city.asahikawa.lg.jp

分類	イベント・行事 募集 契約・入札 会議・説明会 その他 (該当する分類を囲むこと。)
日程	7月28日
発表項目 (行事名)	近文清掃工場周辺地域の錆状の飛散物について
概要 (趣旨・日時・場所・内容等を記入すること。)	7月27日(水)午前、近文清掃工場付近の住民より、「7月26日16時30分頃、錆のようなものが降ってきた」との通報があり、環境部職員が付近を調査したところ錆状の飛散物を発見しました。さらに、清掃工場の煙突上部も調査したところ、同様の物を確認しました。 清掃工場は今年1日から24日まで2炉ある焼却炉のうち1炉を停止して点検を行い、25日より運転を再開したところであり、当該炉から飛散した可能性が考えられるため、7月27日18時に当該炉を停止し、炉の温度が低下した後に、炉の内部の調査を実施します。また、飛散物の安全性確認のため成分分析を行います。 なお、1炉運転により、清掃工場の処理量が低下し、ごみを貯留しておくごみピットにも限界があるため、8月1日から、一時的に燃やせるごみの一部を旭川市廃棄物処分場へ搬入する予定です。
添付資料	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有・無のいずれかを囲むこと。) ※ 有の場合、資料の内容を記入すること。なお、別途冊子等の配付を希望する場合は、その旨記入すること。
報道(取材)に当たってのお願い	
備考	

年月日	令和4年7月29日
内容	報道内容
項目	近文清掃工場周辺地域の錆状の飛散物について (北海道新聞朝刊)

清掃工場から飛散物 煙突のさびが剝離か
旭川市は28日、市の可燃ごみ焼却施設「近文清掃工場」(近文町12)周辺の住宅でさびのような飛散物が見つかると発表した。煙突と焼却炉の内部のさびが剝がれたことが原因とみられ、「有害物質の可能性は低い」としている。

市廃棄物処理課によると、27日、施設から北東に約100m離れた家の住民から「さびのようなものが降ってきた」と通報を受けた。調査したところ、施設周辺で粉状や粒状の物質のほか、2、3センチの破片を確認。同じ物質は高さ約80センチの煙突1本の上部でも見つかったことから、煙突内部の鉄がさびて剝がれ、飛散した可能性が高いという。稼働から26年経過した施設には焼却炉2基がある。問題の煙突とつながる焼却炉は定期点検のため1日から運転を停止し、25日に再稼働したばかり。同課は、この煙突と焼却炉に原因があるとして調べている。

今後、飛散した物質の成分を分析し、早くとも8月中旬に結果が判明する見通し。安全性が確認できるまで問題の焼却炉1基を停止するが、市民生活に影響は無いという。(網島康之)

様式1



旭川市報道依頼

各報道機関 様

令和4年8月5日

発信課	環境部廃棄物処理課
担当者	廃棄物処理課長 尾藤正史
連絡先	電 話 0166-26-1111 (内線 5235)
	F A X 0166-29-3977
	E-mail kankyo_seihai@city.asahikawa.lg.jp

分 類	イベント・行事 募集 契約・入札 会議・説明会 その他 (該当する分類を囲むこと。)
日 程	8月5日
発表項目 (行事名)	近文清掃工場焼却炉の運転再開について
概 要 (趣旨・日時・場所・内容等を記入すること。)	<p>飛散物が発生したことに伴い、7月27日から停止していた焼却炉について調査を実施した結果、煙突内部で発生した錆が飛散した可能性が高いことがわかりました。そのため、煙突内部の清掃を実施し付着していた錆の除去を行い、停止していた焼却炉の運転を8月8日から再開することとしましたのでお知らせします。</p> <p>なお、煙突以外の設備には異常が無かったことを確認しており、飛散物による健康への影響はないものと考えております。</p> <p>また、8月1日から4日まで一時的に燃やせるごみの一部を旭川市廃棄物処分場へ搬入していましたが、8月5日から清掃工場への全量搬入を再開しています。</p>
添付資料	有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無 (有・無のいずれかを囲むこと。) ※ 有の場合、資料の内容を記入すること。なお、別途冊子等の配付を希望する場合は、その旨記入すること。
報道(取材)に当たってのお願い	
備 考	

年月日	令和4年8月5日
内容	報道依頼
項目	近文清掃工場の運転再開について

年月日	令和4年8月6日
内容	報道内容
項目	近文清掃工場 8日再稼働へ (北海道新聞朝刊)

**近文清掃工場
8日再稼働へ**

さび飛散した可能性

旭川市は、周辺の住宅でさびのような物質が見つかったとして、焼却炉1基を停止していた市の可燃ごみ焼却施設「近文清掃工場」(近文町12)を8日から再稼働する。

市廃棄物処理課によると、煙突内部のさびが飛散した可能性が高いという。市は住民の通報を受け、7月27日から工場の運転を停止し、煙突内部を清掃してさびを除去したという。炉の内部の有害物質除去装置に異常は確認されなかった。

旭川市

ASAHIKAWA CITY

[くらし](#) [イベント](#) [観光](#) [事業者向け](#) [施設一覧](#) [市政情報](#)

[ホーム](#) > [事業者向け](#) > [ごみ・環境](#) > [ごみ処理施設](#) > [近文清掃工場](#) > [旭川市近文清掃工場のページ](#) [サイトナビを開く](#)

旭川市近文清掃工場のページ

情報発信元 廃棄物処理課 | 最終更新日 2022年8月6日 | ページID 002687 | [印刷](#)

近文清掃工場焼却炉の運転再開について

飛散物が発生したことに伴い、7月27日から停止していた焼却炉について調査を実施した結果、煙突内部で発生した煙が飛散した可能性が高いことがわかりました。そのため、煙突内部の清掃を実施し付着していた煙の除去を行い、停止していた焼却炉の運転を8月8日から再開することとしましたのでお知らせします。

なお、煙突以外の設備には異常が無かったことを確認しており、飛散物による健康への影響はないものと考えております。

また、8月1日から4日まで一時的に燃やせるごみの一部を旭川市廃棄物処分場へ搬入していましたが、8月5日から清掃工場への全量搬入を再開しています。

家庭から排出される燃やせるごみについて

下記にお知らせしたとおり、一つの焼却炉を停止している状態であり、処理できる量が低下しています。現在停止している焼却炉の再稼働に向け点検を行っていますが、それまでの間、市民の皆様方には可能な限り、燃やせるごみの排出を抑制していただきますよう、ご理解ご協力をお願いいたします。

近文清掃工場周辺地域の焼却の飛散物について

7月27日（水曜日）午前、近文清掃工場付近の住民より、「7月26日16時30分頃、煙のようなものが降ってきた」との通報があり、環境部職員が付近を調査したところ焼却の飛散物を発見しました。さらに、清掃工場の煙突上部も調査したところ、同様の物を確認しました。

清掃工場は今日1日から24日まで2炉ある焼却炉のうち1炉を停止して点検を行い、25日より運転を再開したところであり、当該炉から飛散した可能性が考えられるため、7月27日18時に当該炉を停止し、炉の温度が低下した後に、炉の内部の調査を実施します。また、飛散物の安全性確認のため成分分析を行います。

なお、1炉運転により、清掃工場の処理量が低下し、ごみを貯留しておくごみピットにも限界があるため、8月1日から、一時的に燃やせるごみの一部を旭川市廃棄物処分場へ搬入する予定です。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に伴う事業系ごみの自己搬入に関するお知らせ

旭川市近文清掃工場への事業系ごみの自己搬入について、搬入受付を行います。マスク着用等の感染防止対策のご協力をお願いします。

事業系ごみの自己搬入（直接持ち込み）について

受入日：毎週水曜日（祝日、12月30日から1月4日までを除く）

[事業系自己搬入ごみとは？](#)

[搬入受入日及び予約方法](#)

[搬入の流れ](#)（初めての方は、当日管理棟事務室の受付窓口でご説明します）

[搬入時の留意事項](#)

年月日	下記参照
内容	近文清掃工場ホームページ
項目	ホームページお知らせ

←8/6 9時UP

←8/2 17時UP

←7/28 18時UP

近文清掃工場煙突フラッシングの画像

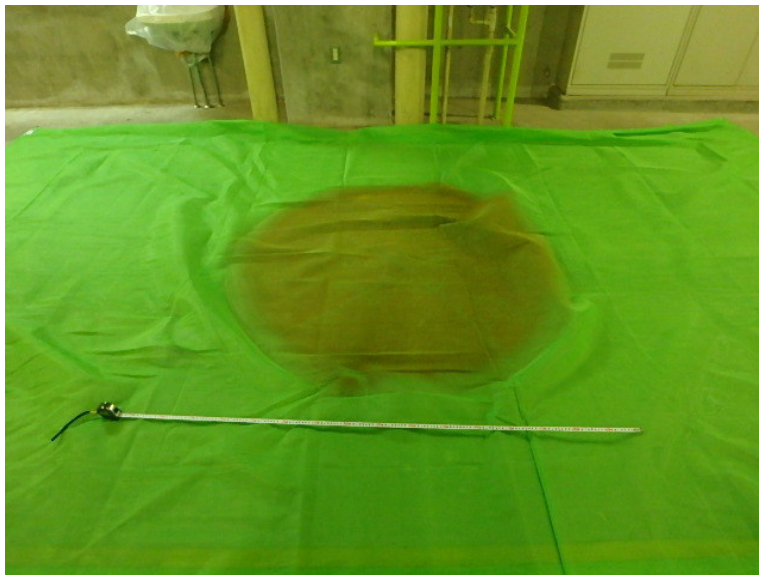
【図4】



場所	1号炉煙突頂部
年月日	令和4年8月4日
内容	フラッシング用ネット設置状況 網(緑色)の目は1mm

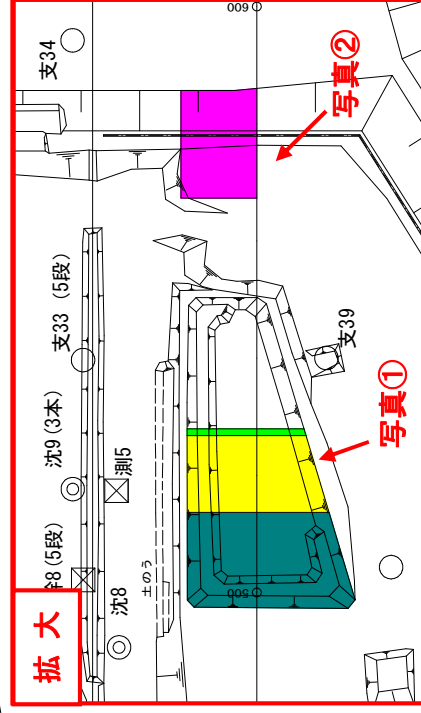
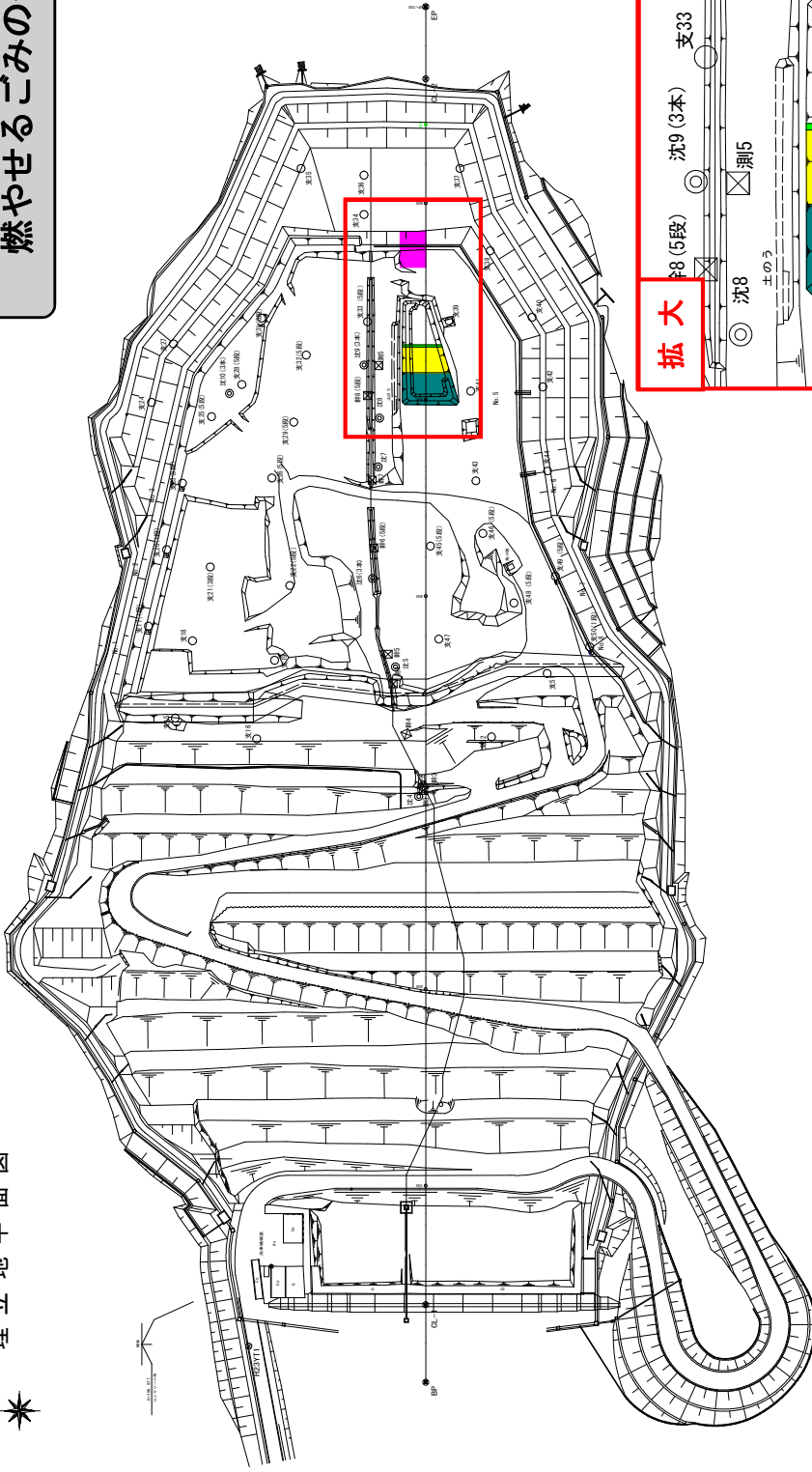


場所	1号炉煙突頂部
年月日	令和4年8月8日
内容	フラッシング時状況



場所	工場棟1階炉室
年月日	令和4年8月8日
内容	フラッシング後ネット状況 内側に微細な錆粉が付着

燃やせるごみの仮置き状況







写真② 193 t 約400m³



写真① 514 t 約900m³



	8月1日 (月)	270 t	67台
	8月2日 (火)	232 t	66台
	8月3日 (水)	12 t	4台
	8月4日 (木)	193 t	65台
	計	707 t	202台

燃やせるごみをパッカー車に積み込んでいる状況

